

人民・住民

助教授 濱本 正太郎

「人民」・「国民」・「民族」・「住民」

住民 population 国民 nationals 民族 ethnic group 人民 people

自決権

生成過程 参照 田畑論文

起源 啓蒙思想 社会契約論

19世紀 « principe des nationalités » (藤田 p. 124)

第一次大戦中 レーニン・ウィルソン 政治の道具としての自決概念

1945年国連憲章 1960年植民地独立付与宣言 1966年国際人権規約

1971年ナミビア事件(判例58) 1975年西サハラ事件(判例59)

植民地支配が終われば自決権も終わる?

「人民」の定義 藤田 p. 124, n. 7

ルナンとフィヒテ

国家の構成要素としての自決権

南ローデシア 藤田 p. 148

バンツースタン政策 資料

国家の破壊要素としての自決権 分離権 判例60・資料(キプロス)

80年代まで有力だった議論 分離権の否定 「バルカン化」のおそれ

欠点 実行との矛盾・理論的説明不可能

そもそも問題の立て方が間違っていたのでは?

・分離を「権利」の問題とするかどうか

・「自決」を即「分離独立」に結びつけることが適切か

ケベック分離事件 「外的自決」と「内的自決」

内的自決・外的自決の区別の利点

自決権の identity crisis?